

JR線の整備推進のための助成制度の創設について

【担当省庁】国土交通省

JR線の整備をより機動的に推進するためにも、JRへの直接助成制度及び府や財政力が脆弱な沿線自治体が整備費を負担する際の自治体への助成制度を創設していただきたい。

<整備が必要な路線>

- JR山陰本線 高速化・複線化（園部～綾部）
- JR奈良線 高速化・複線化（JR藤森～宇治、新田～木津）
- JR片町線 高速化・複線化（松井山手～木津）
- JR関西本線 複線化（木津～加茂）
電化・複線化（加茂～月ヶ瀬口）

【現状・課題等】

- JR線の整備については、国の「幹線鉄道等活性化事業費補助」等の助成制度があるものの、補助対象は法定協議会もしくは自治体の出資に係る鉄道施設の整備・保有を目的とする法人に限定されており、JRへの直接助成が不可能
- JR線等の幹線鉄道の整備は、広域的な地域間の連携の強化や地域の活性化に大きく寄与するものであり、これまでから府及び沿線自治体が整備費用の一部を負担している。
- 現在実施中のJR奈良線高速化・複線化第二期事業の事業費 397.1 億円のうち、府及び沿線自治体負担はそれぞれ 148.5 億円と莫大

	JR西日本	京都府	市町村	計
負担額	100.1 億円	148.5 億円	148.5 億円	397.1 億円

- JR線は、国土の均衡ある発展、地域の交流を支える基盤となるものであるにもかかわらず、その整備を進める沿線自治体の負担に対する財政支援措置はなく、財政力の脆弱な市町村においては大きな負担

京都府
の担当課

建設交通部 交通政策課 (075-414-4360)

■府域の鉄道整備状況

